

英 語

1 英語科の教育課程の編成

(1) 基本的な考え方

| 科 目 | 内 容 |
|-------------|--|
| 総合英語 | 中学校において英語を学習して高等学校の英語科に入学した生徒が履修する基礎科目である。中学校の学習を踏まえ、情報や相手の意向などを理解し、情報や考えなどを英語で伝える能力を伸ばすことをねらいとしている。 |
| 英語理解 | 「総合英語」の学習を基礎として、更に進んだ内容を学習させ、情報や相手の意向などを理解する能力を一層伸ばすことをねらいとしている。 |
| 英語表現 | 「総合英語」の学習を基礎として、更に進んだ内容を学習させ、情報や考えなどを伝える能力を一層伸ばすことをねらいとしている。 |
| 異文化理解 | 英語を通じて、外国の事情や異文化について学習させ、理解を深め、異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションを図る基礎的な能力や態度の育成をねらいとしている。 |
| 生活英語 | 日常生活に役立つ英語の基礎的な知識の習得とその活用能力や態度の育成をねらいとしている。 |
| 時事英語 | 新聞、放送、情報通信ネットワークなどに用いられる英語を理解し、活用する基礎的な能力の育成をねらいとしている。 |
| コンピュータ・LL演習 | コンピュータやLLなどの特性を生かして、理解力や表現力を高め、英語の総合的な運用能力の向上を図る科目である。 |

(2) 配慮すべき事項

英語科の各科目には、その性格、目標及び内容により、他の科目の基礎となる学習を中心とするもの、発展的学習をさせるもの、あるいは他の科目の補強的性格が強いものなどがある。各科目について相互の関連を図り、発展的、系統的な指導ができるよう配慮する。

2 指導計画と内容の取扱い

(1) 指導計画作成上の留意事項

- (ア) 「総合英語」及び「異文化理解」については、原則として、すべての生徒に履修させること。
- (イ) 「英語理解」、「英語表現」及び「時事英語」については、原則として、「総合英語」を履修した後に履修させること。

(2) 内容の取扱い

- (ア) 「総合英語」は「オーラル・コミュニケーションⅠ」及び「英語Ⅰ」の内容を、「英語理解」については「オーラル・コミュニケーションⅡ」、「英語Ⅱ」及び「リーディング」の内容を、また、「英語表現」については「オーラル・コミュニケーションⅡ」、

「英語Ⅱ」及び「ライティング」の内容を十分参考にすることが望ましい。

- (イ) 実践的コミュニケーション能力の育成を図るために、各科目の内容を取り扱う際には、知識の理解や技能の習熟だけに終始するのではなく、最終的には実践的コミュニケーション能力の育成につながる指導を行う。
- (ロ) 各科目の内容は、過度に専門化してあまり高度なものとならないよう十分配慮し、基礎的・基本的なものを重視する。
- (ハ) 教材については、実際の言語の使用場面や言語の働きに配慮したものを取り上げるものとし、また、題材の形式を適切に選択する。
- (ニ) 各科目の指導方法や指導体制については教科「外国語」に準じる。

3 指導計画の作成

科目「異文化理解」の指導計画（例）

| 学期 | 月 | 週数 | 単元（項目） | 指導項目 | 指導のねらい | 予定時数 | 留意事項 |
|----|---|----|--------------------|---|---|------|--|
| 1 | 4 | 2 | Lesson 1 世界の食生活 | <ul style="list-style-type: none"> ●様々な国の食生活について英文を読んだり聞いたりする ●過去形や現在完了形を使い自分の経験を表現する ●電子メールを使って、海外の友人にその国の食生活について情報を交換する | <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材をとおして世界の料理の多様さを知る ・生徒が食べたことがある外国料理について過去形、現在完了形を用い、対話したり、まとまった文章を書く ・コンピュータを活用して実践的コミュニケーション能力を伸ばす | 4 | 過去形や現在完了形を使って積極的に自分の経験を述べたり、相手に質問しようとする態度を評価に加える |
| | 5 | 3 | Lesson 2 世界の結婚観 | <ul style="list-style-type: none"> ●結婚に関する英文を読んだり聞いたりする ●自分の趣向を表す表現を用い、自分の意見を発表する ●インターネットで「match-making」を検索し、選んだ英文を要約したり、感想を書く ●感想を教師に電子メールで送る | <ul style="list-style-type: none"> ・日本、イラン、米国における伴侶の選び方の違いを学び、国により結婚観が違うことを知る ・would ratherやprefer toなどの表現を使い将来の伴侶についての考えをまとめ発表する ・インターネットを活用して異文化理解を深める情報収集能力を伸ばす ・コンピュータを活用して実践的コミュニケーション能力を伸ばす | 6 | 異文化に対する興味・関心・態度も評価の対象とする |
| 計 | | 35 | | | | 70 | |